

# 至近で発生したトラブルについて [ 3 / 4号機排気筒 落下物対応]

2019年2月7日

---

**TEPCO**

東京電力ホールディングス株式会社

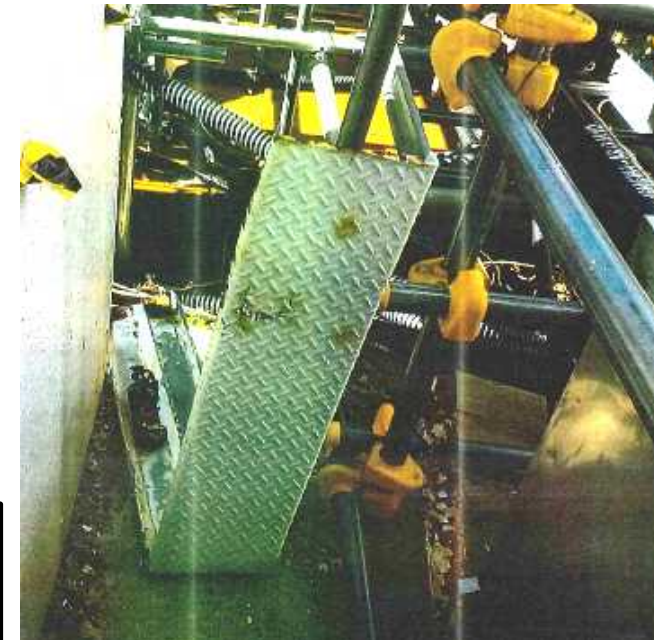
# 1. 3 / 4号機排気筒落下物の概要

- 2019年1月9日午前11時45分頃、4号機廃棄物処理建屋周辺において、当社社員が鉄板（約25cm×約180cm,厚さ約6mm,重量約22kg）の落下物があることを確認した。
- 現場周辺を確認したところ、3 / 4号機排気筒の地上から高さ約76mにあるメンテナンス用の足場材が落下したものであると判断した。
- 落下点周辺では、作業はしていなかったが、当該エリア含む構内4カ所の排気筒において、直ちに半径33mの範囲を区画・立ち入り規制を行い、安全を確保する対応を取っている。



メンテナンス用の足場があった箇所  
(地上約76m)

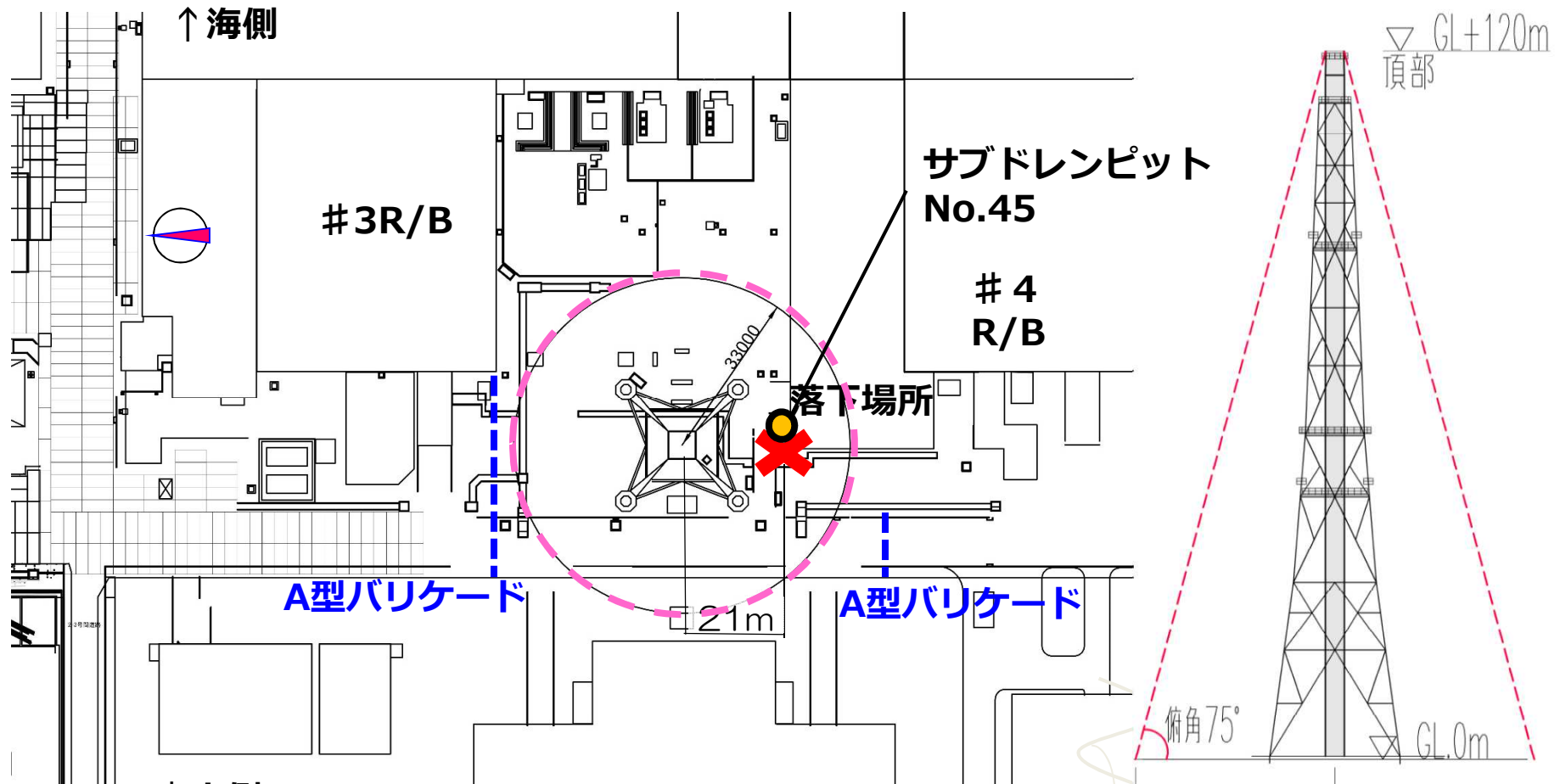
- 足場が落下した場所
- 足場が落下した排気筒
- 立入規制をした排気筒  
(この他5/6号機排気筒も実施)



落下した点検用の足場

## 2. 応急対策実施状況

- 1月9日には、応急措置として排気筒中心から半径33mの範囲を区画し立ち入り規制を図った。
- 当該排気筒を含む構内4箇所（#3R/B、サブドレンピットNo.45、#4R/B）の排気筒においても同様な措置を実施した。
- なお、規制エリア内での作業やパトロールを想定し、通過・作業運用ルールを定め、所員・協力会社に周知している。

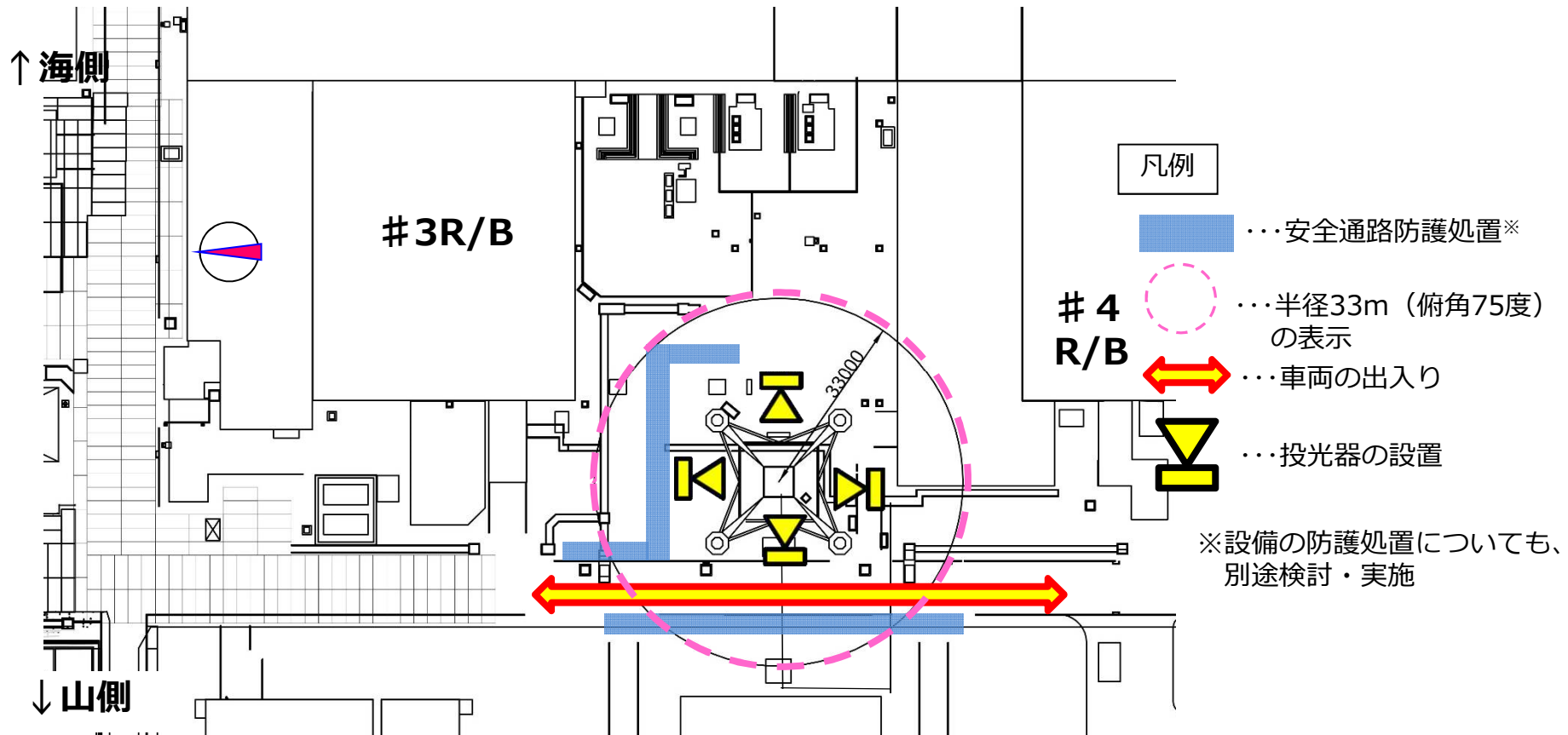


落下範囲計算法の出典：「建設省建設工事公衆災害防止対策要綱土木工事編」

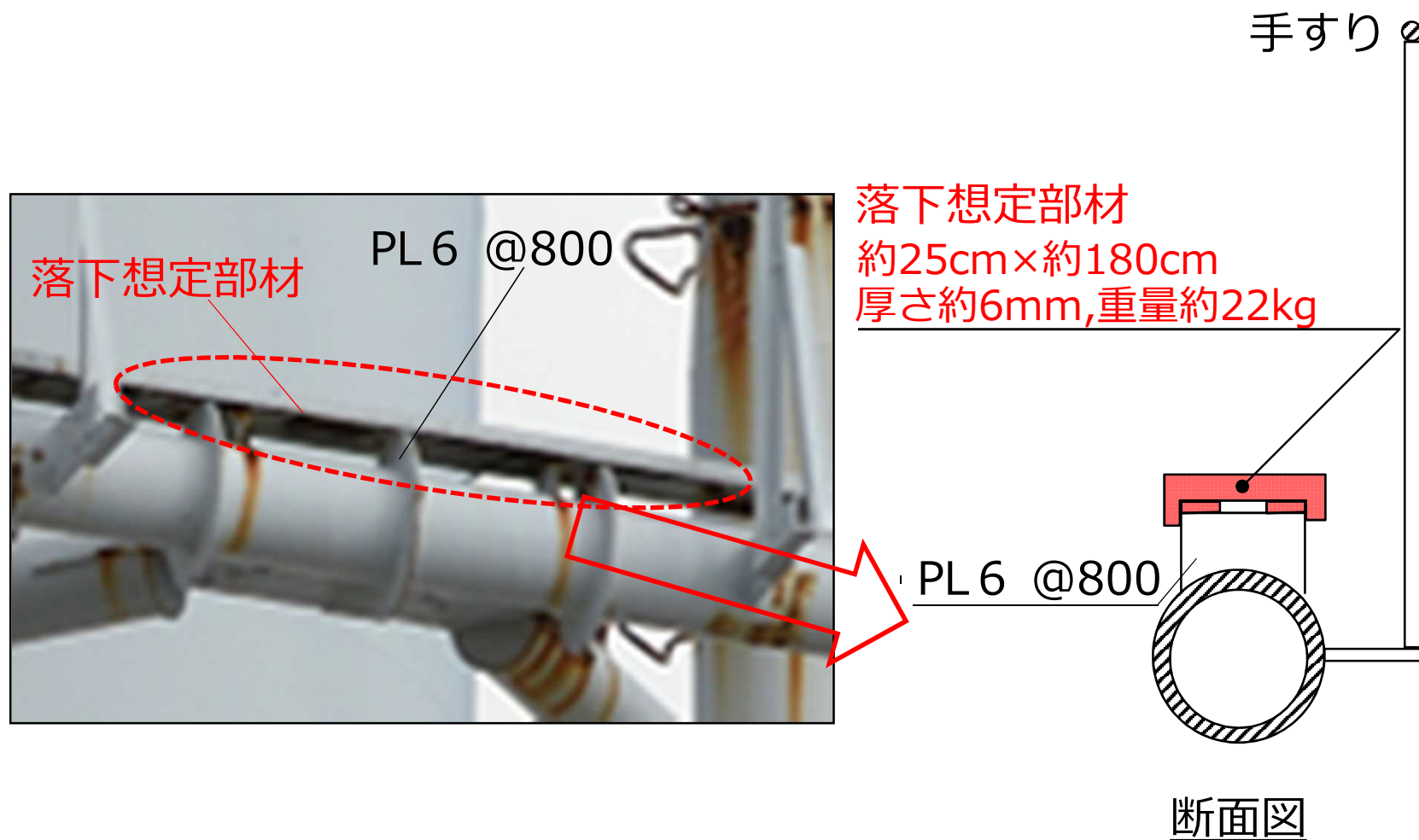
約33m  
想定落下範囲

### 3. 今後の対応

- 規制エリア内の通行・作業のために、屋根付きの安全通路設置等の処置(下図)を今年度内を目途に構内4箇所の排気筒を対象に順次実施予定。
- 臨時点検を実施し更なる落下物リスクの早期発見に努めると共に、落下した要因分析を進めていく。
- 4箇所の排気筒の線量環境や損傷・腐食状況に応じた落下物リスクの低減対策を検討・実施していく。



# (参考) 落下部材詳細





## (参考) 落下部材写真

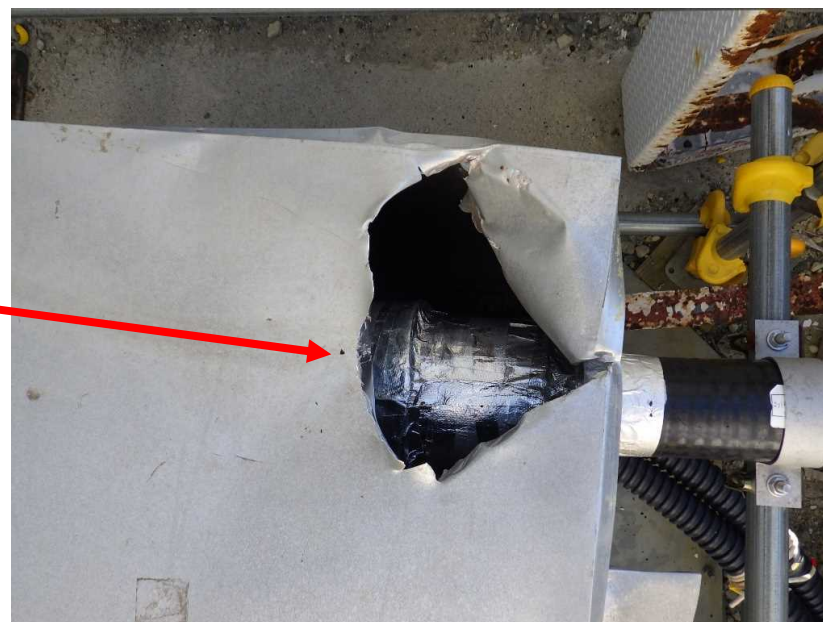


落下した足場

落下した足場の線量：～2.6  $\mu\text{Sv/h}$   
(BG 1.5  $\mu\text{Sv/h}$ を含む)



## (参考) サブドレンカバー写真



落下してきた足場で損傷した  
サブドレンカバー

落下してきた足場で損傷した  
サブドレンカバー(拡大写真)

⇒サブドレン設備は損傷なし。サブドレンカバーは応急処置済み